

## 十勝岳周辺の地殻変動\* Crustal Deformations around Tokachi Volcano

国土地理院  
Geospatial Information Authority of Japan

第1図から第3図は、十勝岳周辺のGNSS連続観測結果である。

第1図上段に基線の配置を、下段に各観測局の保守履歴を示した。

第2図は、第1図に示した基線の基線長変化グラフで、左列は最近約5年間（2013年1月～2018年1月）の時系列、右列は最近約1年間（2017年1月～2018年1月）の時系列である。

第3図は、十勝岳周辺の電子基準点及び気象庁のGNSS観測点の統合解析から得られた変動ベクトル図であり、「美瑛」を固定局とした最近1年間（2017年1月～2018年1月）の水平変動を示した。GNSS連続観測結果に特段の変化は見られない。

第4図は、「だいち2号」のSAR干渉解析結果である。ノイズレベルを超える変動は見られない。

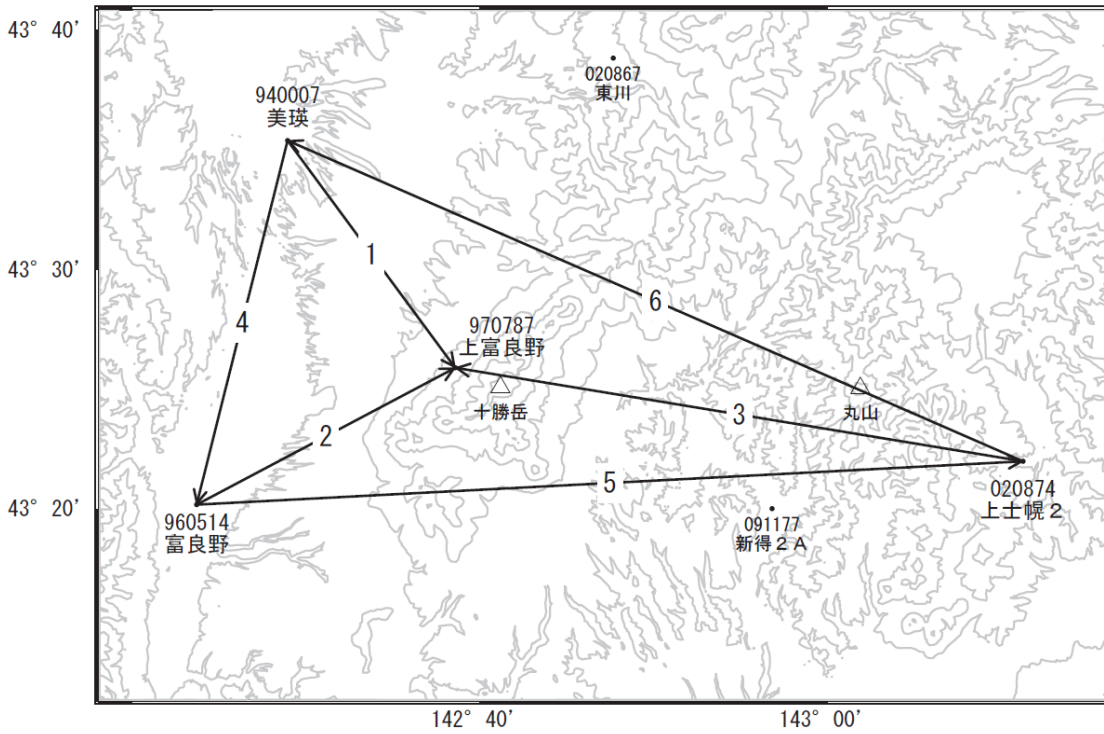
### 謝辞

ここで使用した「だいち2号」の原初データの所有権は、JAXAにあります。これらのデータは、「だいち2号」に関する国土地理院とJAXAの間の協定に基づき提供されました。

---

\* 2018年3月14日受付

十勝岳周辺GEONET(電子基準点等)による連続観測基線図



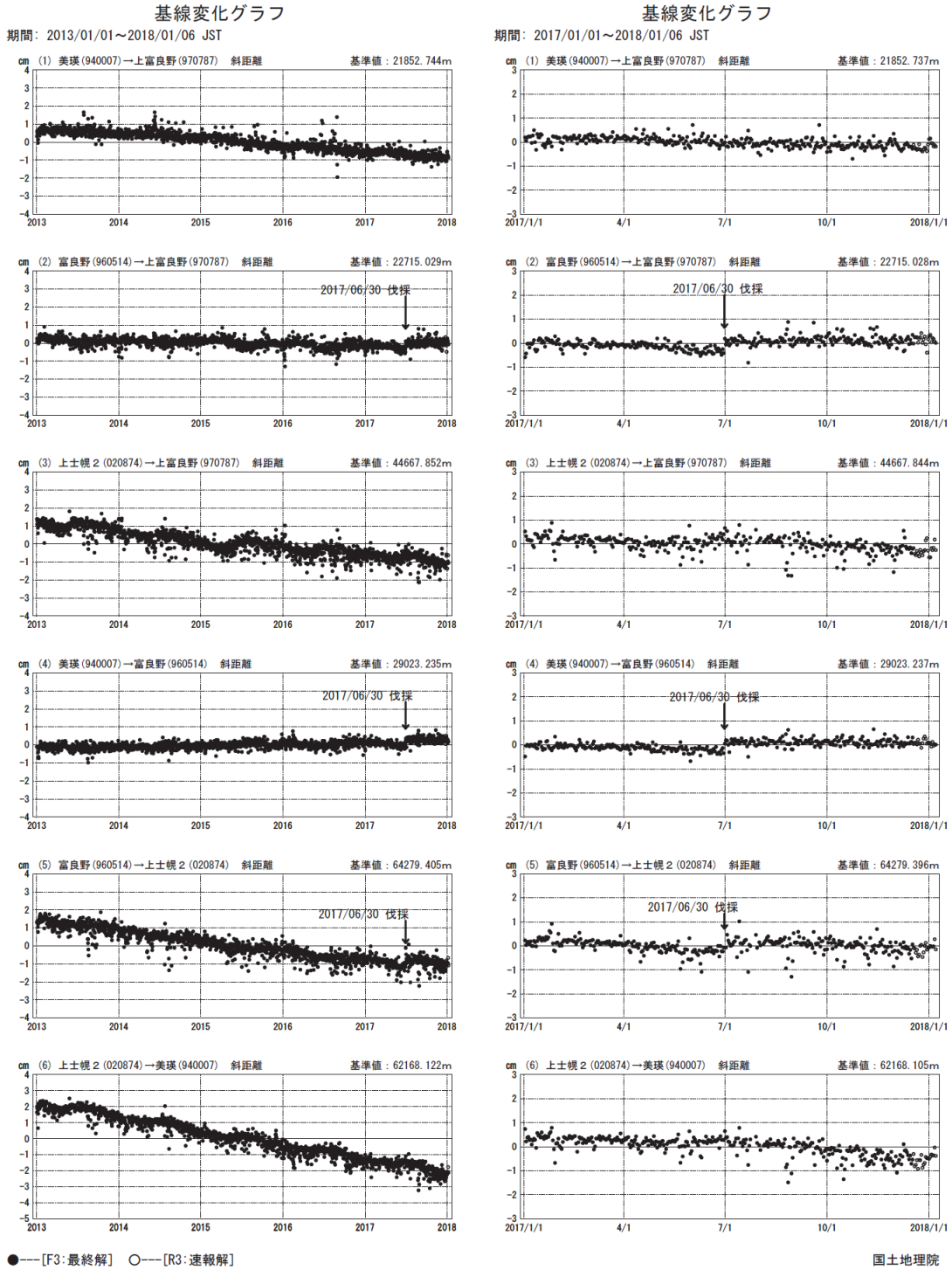
十勝岳周辺の各観測局情報

点番号	点名	日付	保守内容
020874	上士幌2	20170804	アンテナ交換
960514	富良野	20170630	伐採

第1図 十勝岳周辺のGNSS連続観測基線図(上段)と観測局の保守履歴(下段)

Fig.1 (upper) Site location map of the continuous GNSS observation network;

(lower) History of site maintenance.



※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第2図 十勝岳周辺のGNSS連続観測による基線変化グラフ

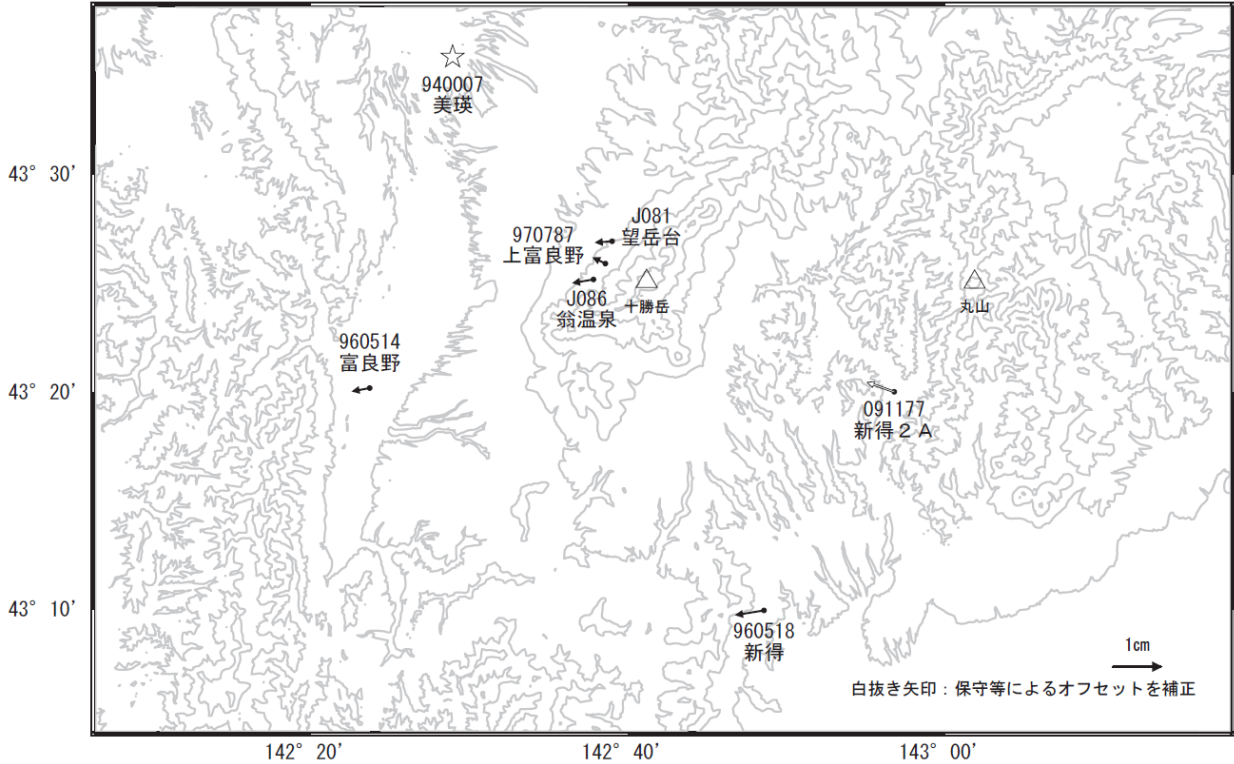
(左列: 2013年1月~2018年1月、右列: 2017年1月~2018年1月)

Fig.2 Time series of baseline length by continuous GNSS observation;

(left) from January 2013 to January 2018, (right) from January 2017 to January 2018.

### 十勝岳周辺の地殻変動(水平:1年間)

基準期間:2016/12/28~2017/01/06[F3:最終解]  
比較期間:2017/12/28~2018/01/06[R3:速報解]

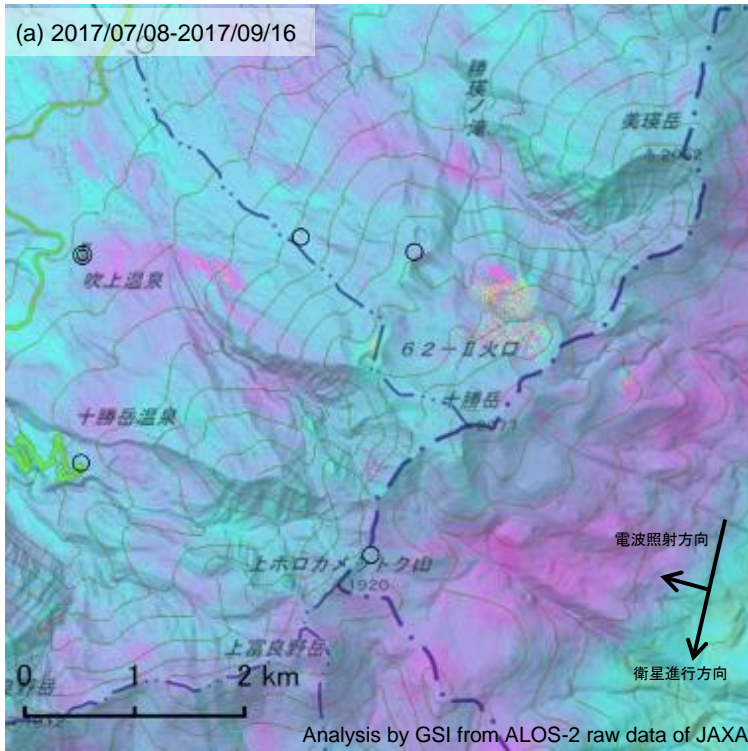


☆ 固定局:美瑛(940007)

国土地理院・気象庁

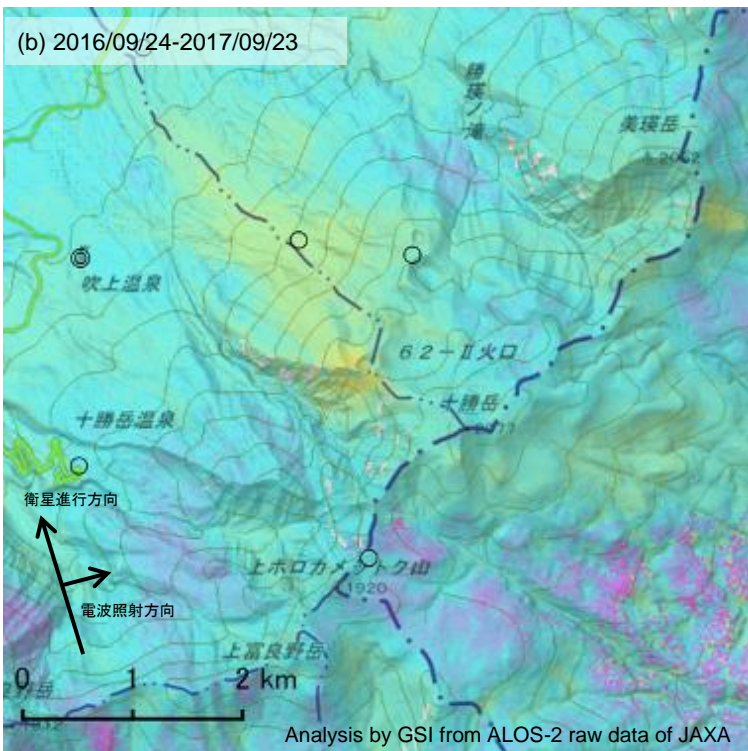
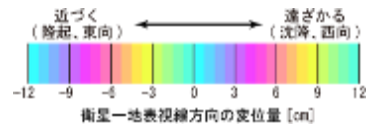
第3図 十勝岳周辺の電子基準点・気象庁 GNSS 観測点の統合解析による水平変動ベクトル図  
(2017年1月~2018年1月)

Fig.3 Horizontal displacements of GEONET and JMA stations by the combined analyzing system from January 2017 to January 2018.

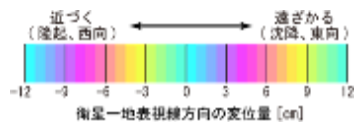


	(a)	(b)
衛星名	ALOS-2	ALOS-2
観測日時	2017/07/08 2017/09/16 11:34 頃 (70 日間)	2016/09/24 2017/09/23 23:19 頃 (364 日間)
衛星進行方向	南行	北行
電波照射方向	右	右
観測モード*	U-U	H-H
入射角(中心)	41.9°	35.6°
偏波	HH	HH
垂直基線長	-112 m	-38 m

\*U: 高分解能(3m)モード  
H: 高分解能(6m)モード



- ◎ 国土地理院 GNSS 観測点
- 国土地理院以外の GNSS 観測点



背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

第4図 「だいち2号」 PALSAR-2 による十勝岳周辺地域の解析結果

Fig.4 (Ascending and/or Descending) SAR Interferogram of ALOS-2 PALSAR-2.